

設立の意義



ひとは、「時代」「場所」「家庭」を選択してうまれてくるものではありません。

ひとの人生のスタートは、平等ではなく、家庭には経済的文化的な格差があります。課題のある家庭に生まれた子どもは、意欲と可能性と将来を奪われてしまいがちです。

私たちは、子どもの将来がその生まれた環境により左右されることのないように諸条件を整備する責務が、第一には国にあり、地方公共団体にあり、そして、地域にあると私たちは考えています。

子どもたち全てが、可能性を秘め、きらりと光るものを持っています。私たちは、その良さと違いを大切にします。

私たちは、「安全と安心」「自尊感情」「自由(目的意識的実践)」を大切にします。



設立の目的・活動の理念

1. 「子どもの貧困」「貧困の連鎖」「虐待の連鎖」の解決を図ります。
私たちの活動は、「放課後の格差の解決」です。
2. 大学生を有償ボランティアとし、志のある若者の参加をお願いします。子どもたちが年齢の近い大学生との出会いで、「自分の将来のモデル」をイメージしやすいからです。
3. 地域の小学生、中学生、高校生が安心して集まり、将来に希望を見出し、自己実現できる場にします
4. 子どもたちが「地域を誇り、地域のため、人のために役に立つこと」を目標にできるような活動を創りだします。
5. 保護者と地域ので、「地域の子どもは、地域が育てる」活動の実現をします。
保護者会の活動を応援します。
6. 子ども支援をしている団体との連携を図ります。



沿革とお願い

2008年「日本における子どもの貧困発見元年」の2月と5月、東淀川区西部の淡路地区と西淡路地区に、中学生対象の「寺子屋淡路」と、小学生対象の「NPO 法人 JUMP」の「宿題応援広場」の活動がスタート。以来8年間行われて来ました。

60数年前、1954(昭和29)年8月には、高校2年生4人が「日之出少年会」を作りその後、60数年間、地域の若者や大人が後輩たちの面倒を見るという活動が続いてきました。「地域の子どもは、地域が育てる」という良き伝統が定着しています。

2016(平成28)年4月、淡路中学校との小中一貫校「須賀の森学園」開設に伴い、元西淡路小学校の図書室と学習園を使用して、小・中・高校生を対象とした「子どもの居場所・あわじ寺子屋」を開設しました。それに先立ち2月、特定非営利活動法人あわじ寺子屋の認証を取得しました。

応援をよろしくお願いします！

資金も人材も不足しています。1口1,000円での「賛助会員」と「学習支援の大学生・退職教職員」と「見守り隊」を募集しています。